

県立多摩高等学校 学校教育計画（中期目標と主な方策）

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上進学重点校エントリー校にふさわしい生徒の学習希望や進学希望に応える教育課程の編成 ・生徒と教員で質の高い授業を創造し学問を探究する姿勢や態度の育成 ・アクティブ・ラーニングの視点からの不断の授業改善の推進 ・科学的に捉えられる姿勢や態度の育成と知的探究心を刺激する取組みの推進をとおして自然科学分野で活躍できる人材の育成 ・グローバル人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム・マネジメントによる情報共有、授業改善の充実 ・生徒による授業評価やアクティブ・ラーニングの評価を活用したよりよい授業づくりの充実 ・国の教育課程研究指定事業【理科教育】及び県立高校改革（I期）指定事業【理数教育推進校】計画の推進 ・英検、GTEC、TOEIC等の資格試験受験促進と英語コミュニケーション能力の育成 ・留学生の積極的な受け入れや部活動をととした外国の高校生との交流の促進
2	生徒指導・ 支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「文武両道」の堅持 ・「カウンセリングマインド」を指導の基軸とした自律的態度の育成 ・生徒の自主性や創造性を尊重した学校行事や部活動の一層の充実 ・健康づくり、体力づくりをととした保健衛生・安全管理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーと社会性ある行動 ・学年集会や学校行事等を活用した自律的な生活態度の育成 ・部活動と学習の両立の支援。 ・教育相談等の機能の活用と連携
3	進路指導・ 支援	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア能力を高める進路指導、支援の充実 ・学びに向かう力の支援の充実と生徒の現役での進路希望の実現 ・入学当初からの難関大学、スーパーグローバル大学（トップ型）進学に向けた計画的・組織的な課外補講の実現 ・キャリア教育実践プログラムの内容の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間における科学的課題研究活動の推進 ・生徒のニーズに合わせた講習の提供や受講環境の整備 ・現役での進路希望の実現 ・データ分析ソフトを活用した進路指導の充実 ・キャリア教育実践プログラムの着実な推進 ・探究活動に係る学習環境の整備
4	地域等との 協働	<ul style="list-style-type: none"> ・「多摩高へ行こうの日」等の工夫・改善をととした教育活動の充実 ・ホームページによる広報活動の充実 ・本校教育活動のネットワークの拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのコンテンツ内容の見直しやタイムリーで魅力的なホームページの作成 ・学校運営協議会制度に係る課題の整理
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・企画会議の機能の強化と職員の経営参画意識の向上 ・安全で安心な学校環境の整備 ・計画的・効率的で適正な予算執行 ・事故不祥事防止の徹底と県民の信頼回復 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育計画に基づく中間及び年間の評価の実施 ・喫緊の課題を解決するための校内組織体制の確立 ・授業時数の管理や学習の状況の把握と授業時間確保 ・改築工事に伴う諸課題や引っ越し等の適切な計画と円滑な実施 ・定期的な日常点検と職員一人ひとりの事故防止への意識の向上の取組みの充実

平成28年度 県立多摩高等学校 学校目標

学校目標	取組の内容	
	具体的な手立て	評価の観点
<p>＜教育課程・学習指導＞</p> <p>①学校全体での授業改善へ向けた実践的な取組みの充実を図る。</p> <p>②教科会での検討を踏まえ、多様な学びの機会を組織的・計画的に実施し、基礎・基本の定着と発展・応用の伸長を図る。</p> <p>③アクティブ・ラーニングの視点から、3つの学びの過程を踏まえた授業の改善を図る。(習得・活用・探究の学習プロセスをととした問題発見・解決力を育成する深い学びの過程、他者との協働や相互作用をととして自らの考えを上げ深める対話的な学びの過程、生徒が見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習を振り返って次につなげる、主体的な学びの過程)</p> <p>④科学との関わりを意識した課題解決的な学習活動の充実を図る。</p> <p>⑤生徒が英語に触れる機会を充実させるとともに、授業を実際のコミュニケーションの場面とする。また、授業以外においてはその活用が得られるよう積極的に英語でコミュニケーションする姿勢や態度を育成する。</p>	<p>①生徒による授業評価の分析結果を迅速に伝える。</p> <p>②カリキュラム・マネジメントに係る職員全体研修の実施と共に、年間を通した教科ごとの情報共有・授業改善の充実に取り組む。</p> <p>③生徒による授業評価やアクティブ・ラーニングの視点からの評価アンケート(仮称)を組織として分析し、生徒・保護者に公表するとともに、生徒と教員によるよりよい授業づくりの充実を図る。</p> <p>④国の教育課程研究指定事業【理科教育】及び県立高校改革（I期）指定事業【理数教育推進校】計画の着実な推進を図る。</p> <p>⑤-1英検、GTEC、TOEIC等の資格試験に係る周知と受験の促進を図り、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。</p> <p>⑤-2短期留学生の積極的な受け入れや部活動をととした外国の高校生との交流の充実を図る。</p> <p>⑤-3スピーチコンテスト等に係る周知と参加の促進を図る。</p>	<p>①-1生徒による授業評価の分析結果を迅速に伝えることができたか。</p> <p>①-2学習指導に対する生徒の肯定的割合が80%以上であったか。</p> <p>②-1授業内容・進捗、定期試験の共通化の取組みが一層進んだか。</p> <p>②-2カリキュラム・マネジメントに係る研修会が実施できたか。</p> <p>②-3全教員が他教科の授業互見など積極的に実施することができたか。</p> <p>③-1生徒による授業評価の項目4における「4 かなり当てはまる」の回答率が5割以上となったか。</p> <p>③-2生徒によるALの評価の項目1及び2における《そう思う》の回答率が5割以上となったか。</p> <p>④-1科学的な見方、考え方をより深めた科学リテラシーを育成・伸長していくため、日本学生科学賞やかながわ国際サイエンスフォーラム等への参加が促進できたか。</p> <p>④-2理数教育に対する生徒の肯定的割合80%以上であったか。</p> <p>⑤-1外部検定試験を活用した生徒は全体の5割以上となったか。</p> <p>⑤-2英検2級以上の生徒が増加したか。</p> <p>⑤-3短期留学生の受け入れが検討されたか。</p> <p>⑤-4スピーチコンテストへの参加ができたか。</p>

学校目標	取組の内容	
	具体的な手立て	評価の観点
<生徒指導・支援> ①生徒一人ひとりが自他を敬愛し、礼儀を重んじ、自由と責任をわきまえた行動ができる姿勢や態度を育成する。 ②生徒一人ひとりに寄り添い、向き合う指導から、生徒の自律的な生活態度の育成を図る。 ③部活動への加入を励行するとともに、学校行事や生徒会活動などの一層の充実を図り、生徒の活動の場を拡大する。 ④学校行事や部活動をおし生徒の体力づくりを進めるとともに、生徒会や委員会など生徒自らの取組みを教職員全員が支援し、安全で安心な学校環境の整備を図る。	① マナーアップ運動、登下校指導を実施し、マナーと社会性ある行動を身につけさせる。 ② 学年集会や学校行事等を活用して生徒自らが考えて行動できる指導・支援をとおして自主・自律的な生活態度や姿勢を身につけさせる。 ③ 生徒が部活動・行事等と学習を両立し、自他を尊重し、豊かな経験を得ることができるよう指導・支援する。 ④ 心身ともに健康的な学校生活が実現できるよう学校内外の教育相談等の機能の活用・連携をとおして生徒の支援を図る。	① マナーアップ運動等の取組により、生徒が恒常的に社会性のある行動がとれるようになったか。 ② 生徒が自主・自立ある学校生活が送れるよう全教職員で指導にあたることができたか。 ③ -1部活動加入率の増加 ③ -2学校行事等の生徒の満足度調査8割以上 ④ -1教育相談等について情報提供をしていくとともに、心のケアが必要な生徒にはケース会議を開催するなど迅速に対応できたか。 ④ -2保健室の利用状況などについて生徒のニーズにあったものになっているか。
<進路指導・支援> ①さまざまな学習活動を通して自然科学や科学技術に触れる機会を増やし、すべての生徒の科学に対する興味・関心を高め、科学的な思考力・判断力・表現力の向上を図る。 ②自律的な学習習慣の確立に向けた1学年次からの進路指導・支援を行う。 ③-1キャリア支援グループと学年が連携し、具体的な学習指導の対策を検討・実施するとともに進路に係る学年集会や面接指導等を活用した組織的なキャリアカウンセリング指導の定着を図る。 ③-2校内学力検討会、センター・模試分析会等の実施と大手三社の模試分析の担当者を招聘した定期的な学力分析会の計画的・組織的な実施の強化を図る。 ④-1高大連携等を推進し、専門性の高いコーディネーターと連携するなど学校外部の教育資源を有効に活用して教育活動の充実を図る。 ④-2発展的学習の場として、外部との連携による特別活動や校外での学習の機会を設定する。	① -1総合的な学習の時間における課題研究に科学的なテーマを取り上げることが推進する。 ② 長期休業中の講習、土曜講習等の効果を上げるために、生徒のニーズに合った講習を提供し、受講しやすい環境を整える。 ② -1三年間を見据えた進路指導をとおして、現役での進路希望の実現を支援する。 ② -2模擬試験等のデータやデータ分析ソフトを活用したデータに基づく進路指導の充実を図る。 ② -3キャリア教育実践プログラムの着実な推進を図る。 ④ 『総合的な学習の時間』をキャリア教育及び生徒の主体的な学びを引き出す探究活動の核と位置づけ、学年の進行に応じた学習内容の整備を行い、これを実践する。	① 自然科学系進学希望者を引き上げることができたか。 ② 長期休業中の補習受講者が昨年度比で2割以上増えたか。 ③ -1生徒の目標を高く持たせ、希望進路の実現が支援できたか。 ◎大学現役進学率を上げることができたか。 ③ -2学力向上進学重点校エントリー校として指標1から4の達成目標に近づけられたか。 ③ -3学力向上進学重点校エントリー校として指標5の達成目標に近づけられたか。 ◎難関大学現役合格10名以上、スーパーグローバル大学(トップ型)の現役進学率25%以上 ④ 基礎学力の充実とともに、キャリア教育の視点を踏まえた生徒一人ひとりの能力を伸ばすための授業展開が図られたか。 ◎生徒学力調査(3教科)平均得点率8割以上
<地域等との協働> ①「多摩高へ行こうの日」を計画的に設置することで、開かれた学校づくりと多摩高の魅力情報を発信する。 ②ホームページの内容の迅速な更新に努め、タイムリーで魅力的なホームページの作成に取り組む。 ③学校運営協議会制度に係る組織体制づくりを進め、本校の取り巻く教育資源や人材などネットワークの拡大に向けた取組みの充実を図る。	① 保護者や地域の方々、他校に開かれた授業公開を行うとともに、中学生とその保護者への情報発信を学校行事やホームページで行う。 ② 各グループが所管するホームページのコンテンツや内容の見直しをとおしてタイムリーで魅力的なホームページの作成に取り組む。 ③ 学校運営協議会制度に係る課題を整理し、趣旨に合った評価部会の立ち上げを実施する。	① 5教科以上の他校参加型授業公開(研究協議会含む)が実施できたか。 ② 各グループが所管するホームページの内容に創意工夫がみられたか。また、ホームページ内容の更新回数が増えたか。 ③ 学校運営協議会制度に係る課題を整理し、趣旨に合った評価部会の立ち上げが実施できたか。
<学校管理・学校運営> ①企画会議と各グループとの相互のコミュニケーションを図り、自発的な人材の育成をとおして全職員の経営参画意識を高める。 ②授業の質と量の確保等、喫緊の課題を職員全体で共有し、平成30年度入学生に向けて、課題解決の方向性を検討する。 ③校舎の改築工事に伴う校舎内外の環境整備に努める。 ④県費・私費の計画的、効率的な予算執行に努め、業者選定の適切な事務手続きの徹底を図る。 ⑤教育公務員としての高い倫理意識と法規法令遵守を徹底し、日常点検を通して事故の未然防止に全力で取り組む。	① 企画会議を中心に組織間の連携を図りつつ、カリキュラム編成や年間行事、授業日課等について、具体的な検討が行われたか。 ② -1喫緊の課題を解決するための校内組織体制の確立を図る。 ② -2学年や学期、月ごと等に授業時数の実績の管理や学習の状況の把握を詳細に行い授業時間確保を図る。 ③ 生徒への教育活動や安全に配慮し、改築工事に伴う諸課題や引越し等の適切な計画と円滑な実施をする。 ④ 生徒への教育活動や安全に配慮し、改修工事に伴う課題や引越し等の適切な計画と円滑な実施をする。 ⑤ 定期的な日常点検を確実にを行い、職員一人ひとりの事故防止への意識の向上に努める。	① 企画会議を中心に組織間の連携を図りつつ、カリキュラム編成や年間行事、授業日課等について、具体的な検討が行われたか。 ② -1喫緊の課題を解決するための校内組織体制を確立できたか。 ② -2授業時数を確保できたか。 ③ 各グループ及び事務室等が連携して、校舎改築を円滑に進めることができたか。 ④ -1県費・私費の予算や決算、執行、また業者選定等が適切に行われたか。 ④ -2公費と私費の区分が徹底され、適切な予算執行が図られたか。 ⑤ -1県民に対する丁寧な窓口対応や電話対応に努めることができたか。 ⑤ -2施設・整備の日常的な安全点検をとおして迅速な修繕対応に努められたか。 ⑤ -3入学者選抜業務に係る事故ゼロを達成できたか。
教育目標・教育方針・中長期的な方針など 「質実剛健」「自重自持」の精神を礎に、多摩高等学校グランドデザインに基づき、「学力向上進学重点校エントリー校」「県立高校改革(I期)指定事業(理数教育推進校)」に相応しい教育を県民に提供する。		